



地域全体が 子どもを育む チーム

今西家の応援団が教えてくれたのは、支え合う事の大切さ

10月は里親月間

今年の里親講座は新型コロナの感染拡大防止のため中止ですが、里親制度に関心のある人は、いつでもご連絡ください。

いつでも
どんなことでも
お話を伺います



宇城市の担当は
きらきらの
山川さん

養育家庭センターきらきら

☎ 096-383-8100
✉ kirakira@jiaien.or.jp

毎月第2金曜はオンライン説明会

QRコードを読み込んで、参加してください。

時間 ■ 10時
■ 14時
■ 19時



Zoomで説明会を開いています

里親制度や子どもに関する相談・問い合わせは、身近なこちらの窓口でも

こども相談室

児童福祉センターでは、市内に住んでいる子どもに関する相談を家庭児童相談員と子育て支援コーディネーターが受け付けています。

対象 18歳未満の子どもと保護者
利用日時 平日午前9時～午後4時
利用方法 電話、来所
子育て支援課 ☎33-1118

場所 市役所
子育て支援課内

児童家庭支援センター ぽぴんず

ぽぴんずでは、子どもとその家庭の困り事を解決するための相談や支援を行います。相談支援員や心理の専門職が担当します。

対象 0～18歳の子どもと保護者、地域の人
利用日時 平日午前9時～午後6時
利用方法 電話、メール、来所、訪

問支援(来所、訪問は要予約)
予約は、電話またはメール、ホームページで

☎ 42-9143
✉ jikasen@popins-kumamoto.jp
ホームページ
https://popins-kumamoto.jp/jikasen



場所 不知火町御領
35番地2-2

先輩里親の想いは
里親を勇気づけ
新しい縁をつないでいく

先輩

子どもの居場所づくり

今西さんとの出会いは、ひまわり会。この会は母親同士の交流を深めたいという先輩里親たちの想いを引き継ぎカタチにしたもので、毎年、ゴールデンウィークに県内の里親家族が集まって川で遊んだり、食事をしたりして交流を深めています。もちろん日頃の悩みを話す場でもありました。みんなの体験談を聞くと腑に落ちることも多く、新しく里親になる方には積極的に声掛けするようにしていたんです。今西さんが初めて来られたのも、里親登録されたばかりの頃。ここでの出会いから、相談し合う仲に。希望とは

社会的養育の大切さ

勤めていたコスモス保育園に当時2歳半だったお姉さんが入園し、全職員に里親家庭との周知がありました。しばらくすると妹さんも入園し、クラスの担任になりました。里親家庭だからと特別なことをしたわけではありませんが、2人とも発達が遅やかでサポートを必要としていたため、園での工夫やできるようなったこと、叱ったことなどを情報交換していましたね。

地域

地域で自然に受け入れる

私たちは子どもたちの保育園がきっかけで仲良くなつて、もう12年以上の付き合いです。

道越

身近な人が里親というのは初めてでしたが、美奈子ちゃんが取り組む姿をずっと見てきて里親制度を身近なものとして知ることができました。

松本

短期の里親制度のことなど、数日でも家庭を体験できることが施設の子たちに貴重な経験となることなども教え

地域の見守りは
子どもの育ちを
優しく支える

違う養育里親の選択に、とても悩まれたと思います。私も誠実に応えたい一心でした。私の根底にあるのは子育ての喜び。だから希望する人にはその幸せをつないでいきたい。今は支援が手厚くなり、行政やさまざまな機関と里親との関係が密で心強さもあります。私も長年務めた里親協議会の役員としての経験を生かし、多くの人の橋渡しとなり子育てしやすい環境づくりを支えていきたいです。今は親の介護が始まり、緩やかな里親生活。年に数回、2泊3泊で子どもを預かっていきます。私が「宿題しなさい」とうるさく言うので、子どもは「もう来ん」と怒ります。でもまた、



まつみ よしこ
松見 善子さん
八代市

私は現在、教員として保育者を育てる立場にいます。保育園は社会的養育の場として全ての家庭を支える機関です。

今西さんには大学で里親としての経験を学生に伝えていたこともあります。想いや生の声を届けることで、学生たちも里親家庭がドラマや別の世界だと思わなくなりそうです。そして、関心を持ち、正しい理解へとつながります。私も話を聞き、子どもの育ちのために保育園を利用しようと考えたことなど、当

てもらいました。

二人

子どもたちに寄り添えるように、さまざまな角度から学びを深め活動する美奈子ちゃんのことを心から尊敬し、応援しています。同世代ママ、友だちとして、お互い支え合える大切な存在です。里親家庭は特別なようで特別ではない。私たちにできるのは、登校する今西家の子どもたちを見かけたなら手を振って話しかけたりと、たわいもない普通のことですが、子ども

時は見えなかったことを知ることでできました。知識がないと偏見にもつながります。今西さんとの出会いは、里親家庭を当たり前に知る保育者を多く育てようという私の意思につながっています。



うえはら まさき
上原 真幸さん
熊本学園大学 社会福祉学部 講師

私たち「地域の大切な宝」として見守っていかれたらと思っています。



みちごし りえ
道越 里恵さん
松橋町

まつもと ゆみ
松本 由美さん
松橋町